

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	13130001
授業科目名(Course name)	フランス語文化入門		
担当者(Instructors)	北原 ルミ		
開設学部学科(Department)	文学部 外国語コミュニケーション学科	科目分類番号(Course classification number)	251
開講クラス(Class)	(文) 1	開講形態 (Course format)	講義
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	前期 金曜3限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))		履修者数上限(名) (Maximum number of students)	120

■授業の概要(Course outline)

「フランスはどこにあるのか?」「フランス人と呼ばれるのはどういう人たちか?」「フランス文化とは何なのか?」といった問いに答えていく授業である。「カトリック教会の長女」から「共和国」へと、相克を経て変化していく歴史のラインをおおまかにとらえられるようにする。まずフランス的なもののイメージを一手に担う首都パリについての紹介からはじめ、歴史を辿りながら、時代ごとの特徴を理解する。また歴史と現在(時事問題)とのつながりを意識するためにも、新聞スクラップの作成を課題とする。

■到達目標(Course goals)

フランス語圏の文化について知り、語ることのできる視点を身につけている。

■履修上の留意点(Important points)

なし

■学位授与方針 (Diploma policy)

1. 知識・理解

日本を含む世界の多様な文化を理解するとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。 ◎

2. 汎用的技能

世界の言語や文化の諸問題についての情報を適正に収集し、さまざまな研究理論を用いて分析し考察することができる。 ○

3. 態度・志向性

自らを律し、他者と協働して目標の実現のために行動できるとともに、向上心を持って学び続けることができる。 ○

■授業計画(Lesson plan)

1. 導入：ヨーロッパの中の「フランス」

2. 観光都市パリに刻まれた歴史

3. カトリックの文化と歴史

4. 中世キリスト教世界とイスラーム世界の衝突

5. 中世の騎士道と女性崇拜

6. 南仏からみる歴史とオック・アイデンティティ

7. 中世末期からルネッサンス・宗教戦争へ

8. 「フランス文化」栄華の時代

9. 啓蒙の世紀～フランス革命～動揺する19世紀
10. 第三共和政と政教分離
11. フランス革命後から第二次世界大戦前夜までの社会と文学
12. フランス地方の多様性：プロヴァンスとノルマンディー
13. 第二次世界大戦とヴィシー政権
14. 第二次世界大戦とレジスタンス
15. 現在のフランス：第四共和政から第五共和政へ

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)

- ・新聞スクラップの作成（任意・加点）
- ・毎回のコメントシート（400～600字）
- ・期末レポート（2000字）

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)

フィードバックは授業内でおこなう。新聞スクラップは後期オリエンテーション時に返却。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)

参考：池上俊一『お菓子でたどるフランス史』（岩波ジュニア新書、2013年）、中野隆生・加藤玄編著『フランスを知るための50章』（明石書店、2020年）、上垣豊編著『はじめて学ぶフランスの歴史と文化』（ミネルヴァ書房、2020年）

■評価方法(Evaluation method)

コメントシート 70%
期末レポート 30%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)

オフィスアワーの時間に対応